

Research Instruments Center

お一人様からでも見学歓迎いたします

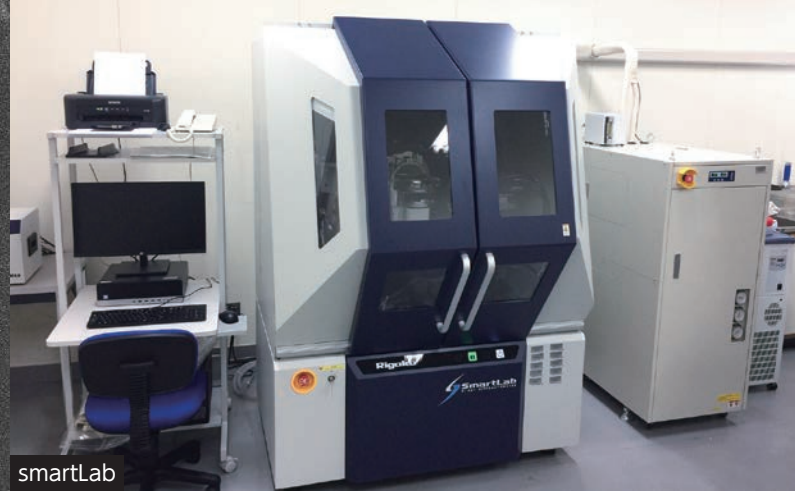


岡山理科大学
研究・社会連携機構
総合機器センター

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1
TEL&FAX 086-256-8473
E-mail sogokiki@ous.ac.jp
<https://www.ric.ous.ac.jp>

研究・社会連携機構
総合機器センター
Since 1985

岡山理科大学



私たちは共同利用を促進し、サポートいたします

オープン機器以外でも学内教員との共同研究でご利用いただけることがあります。利用にあたってはセンター職員又は機器責任者（教員）が試料作製、機器の操作方法、データ解析などをサポートいたします。

コンセプト

最先端の研究機器の活用を通じて岡山理科大学教職員・学生、そして学外者の研究および教育推進に貢献します。

- ◎ 最先端の研究機器を設置し十分な保守点検整備を行い、最良の状態で使用できるよう維持します。
- ◎ 教職員だけでなく学生にも機器の使用を認め研究機器の自主的活用と原理の理解を通して教育に貢献します。
- ◎ 保守・修理の一部を学生・教職員の参加で行い、研究機器の動作原理の理解を深め、さらに機器の改良・創製などにチャレンジできる土壌を作ります。
- ◎ 最先端の研究機器を紹介して学内外の生徒・学生・教職員・社会人に対する最先端科学機器の理解に努めます。
- ◎ 「センター報告書」を隔年で発行し、機器の紹介に加えて、機器使用状況、研究成果などを学内外に公開します。
- ◎ 在学する学部生（1年～4年）、大学院生よりセンターの機器を利用する研究テーマを募集し、選考後に学生の自由で自主的な研究活動をサポートします。
- ◎ 所有する機器の学外オープンを促進し地域に貢献します。

総合機器センター HP はこちらから ➡

(<https://www.ric.ous.ac.jp/>)



所有機器 (2025 年 4 月現在)



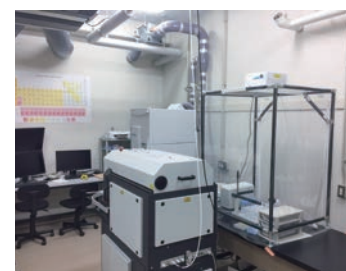
SU8010



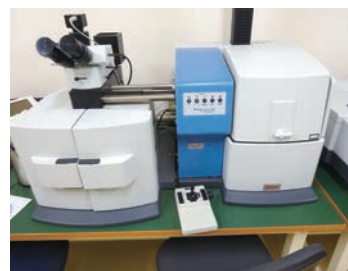
JXA-8230



Autoflex speed



iCAP-RQ/Analyte-G2



ALMEGA XR



iS50 FT-IR



JSM-6490



JES-PX2300



VariMax



XL5

機種	機器名
AKTApure25 等	タンパク質精製解析システム
◆Chromium iX	シングルセル発現解析用ライブラリ作成装置
◆Miseq/TapeStation	遺伝子配列決定ハイスループット解析システム
SmartLab	全自動 X 線回折装置
iCAP-RQ/Analyte-G2	レーザーアブレーション ICP 質量分析計
JEM-2800	フィールドエミッション型透過電子顕微鏡
JNM-ECZ400S	核磁気共鳴装置
FV3000	共焦点レーザー走査型顕微鏡
JEM-1400	透過型電子顕微鏡
SU8010	電界放射走査型電子顕微鏡
JXA-8230	電子プローブマイクロアナライザ
*Autoflex speed	飛行時間測定型質量分析装置
VariMax	エックス線構造分析装置
*JES-PX2300	電子スピン共鳴装置 (ESR)
*XL5	磁気特性測定装置 (MPMS)
*JSM-6490	走査型電子顕微鏡
ALMEGA XR	顕微ラマン分光分析装置
iS50 FT-IR	顕微赤外分光分析装置
3960Tsunami	蛍光寿命測定装置

◆：今治キャンパス設置機器 *：学外者利用可能機器

主な業務

大型分析機器の管理



FV3000

所有する大型分析機器のトラブル・故障に迅速に対応し、常時、最適な分析環境を提供できるよう努力します。さらに、各機器の講習会、イベントなどをサポートします。

学外者利用希望の方は、
こちらから詳細をご覧ください。➡

(<https://www.ric.ous.ac.jp/potato/off-campus-users.html>)



大型機器の選定



JNM-ECZ400S

本学で必要とされている公共性のある分析機器を公平に選定し、文部科学省などへ補助金申請を行います。その他プロジェクト終了後の機器も引き継ぎ管理いたします。

液体窒素の供給



液体窒素貯蔵容器

試料の温度可変実験や超伝導磁石の寒剤として使用される液体窒素を貯蔵し学内利用者への供給・運搬を行っています。液体窒素、高圧ガスの保安教育を行います。安全を確保しています。